

税金は社会を支えるための会費

6月5日（水）、関東信越税理士会館林支部から講師をお招きし、6年生を対象に租税教室が行われました。

「学校で勉強するのにどのくらいの税金が使われているか」について配布された冊子で学習した後、どのようなものに税金がかかるかの〇×クイズが行われました。

自分たちも消費税など、税金を払っていることをあらためて確認し、DVD視聴で「税金のない社会はどのような社会か」を学びました。

講師は、安心して暮らせる社会であるためには、税金が必要であり、税金は社会を支えるための会費のようなものであると締めくくりました。

